

令和5年12月議会 12月5日(火)～15日(金)

《主な議案》

●第66号議案 神川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

反対 川浦雅子 賛成多数可決

【反対討論要旨】55歳を超える昇給停止は「失われた30年」と云われる経済停滞の中、神川町を支えてきた職員と、若い世代も今後対象となる。職員の処遇を後退させてはならないと考え反対。

●第73号議案 神川町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例

反対 川浦雅子 賛成多数可決

【反対討論要旨】マイナンバーカードと健康保険証を一体化すれば現行保険証では認められていない医療情報の二次利用にもつながる。個人情報を真に図る制度も確立していない。マイナンバーカード取得は任意である。現行保険証を来月秋に廃止する事に反対の為。

●第74号議案 令和5年度神川町一般会計補正予算

反対 川浦雅子 賛成多数可決

【反対討論要旨】国民への権利侵害や負担増、サービス低下につながる危険性があるマイナンバー制度に関連したシステム改修委託料のみに反対のため。

●第86号議案 神川町手数料条例の一部を改正する条例

反対 川浦雅子 賛成多数可決

【反対討論要旨】「マイナンバーカード利用等でマイナポータルを利用すれば無料」という内容で将来的にマイナンバーカードを持たない人の切り捨てにつながるものと考え反対。

かみかわ民報

2024年1月発行

No. 34

日本共産党

連絡先

0495 (77) 2248

川浦 まさこ

金権政治、米国の言いなり
政治のゆがみを正していきましょう！一緒に！



生活相談も
しております！
お気軽に
ご相談ください♪



※日本共産党の見解を紹介します

Pick up!

日本共産党の経済再生プラン

★「失われた30年」の抜本的な3つの改革

1. 政治の責任で賃上げと待遇改善を進める
⇒人間を大切にする働き方への改革。
2. 消費税減税、社会保障充実、教育費負担軽減
⇒暮らしを支え、格差を正す、税・財政改革
3. 気候危機打開、エネルギーと食料自給率向上
⇒持続可能な経済社会への改革

裏へ続く

＊ひとこと＊



セルフケアをして
心と身体の健康を
保ちましょう♪

●庁舎等の公共施設の設計業務について

【川浦】公共施設建設や改修時に於いて、その多くは設計業務や管理業務を委託していますが、完成後に施設の目的に合っていないのではないかなど幾つかありました。例として多目的トイレとして建設されたものがその用途としては使いづらいのではないかなどにより完成後に改修されたり、ある公園トイレには男性用と多目的用しかなく、女性用がありません。建設時に疑問は出なかったのか、また仮設トイレの凍結や新規設置のマンホールを位置変更した為の車両の重みで蓋が破損した等々。公共施設や改修では入札等での金額で業者が選定されま

すので、話し合いや確認が大事です。施設完成後に、さらに改修する等にならない対策はないのか、町職員の関り福祉の観点からも専門職員の意見を聞く事やユニバーサルデザインの認識を伺います。

【町長】庁舎等の公共施設建設は専門的な部分が多く、設計監理業務を入札等により外部委託しています。施工時には、定期会議、工事の日程や進捗状況の確認等行っています。今後は設計段階から複数の職員によるチェック体制の構築や、最新の注意を払った打ち合わせ等を実施し、また、ユニバーサルデザインの視点では、業者と職員間で連携し進めていきます。自治体職員も建設部門やICT関係等の専門職を予算等もあり雇いませんので、業者選考、プロの設計業者と十分に話し合い確認を行って進めていきます。

●子どもの芸術体験格差と大人の運動能力低下傾向について

【川浦】家庭の収入によって子供

たちが学校外で体験する様々な機会に格差が生まれています。そのため公教育費が果たす役割が大きいと考えます。芸術体験はスポーツや音楽や演劇等様々ですが、保護者が小学生の事に芸術体験のない環境にあると、さらに差が出て、貧困の世代と想像力が養われるといわれています。力を入れて頂きたい。また、運動ですが、町では以前B&G海洋センター体育館内に健康器具がありましたし、遊歩道には健康器具型ベンチもところどころに設置されています。活用されたのですか。公共施設でのスポーツ環境の充実も必要ですが、何よりも使ってこそです。運動能力や反射神経の優劣に関わらず大人も子供も楽しく取り組める企画等も考えて頂きたい。スポーツを阻害する最大の要因は仕事や家事が忙しいからお金に余裕がないということも挙げられます。自分や家族と向き合う時間がない方も多いかと思えます。心身が満たされ社会とのつながりも良好でそれが持続している状態をウェルビーイングと呼び広い意味での健康や幸福として、よりよく生きるための指標として、世界保健機関の憲章に記載されています。この考えのもと、町の公教育や生涯学習に取り組んで頂きたい。

【教育長】学校行事に於ける芸術体験機会は、コロナ禍で行っていませんでしたが、昨年ごろから再開しております。文化庁の実施する文化芸術等総合支援事業に毎年応募しています。なかなか当たらないですが、町でも昨年度よりNHK交響楽団によるニューイヤークンサートを公民館ホールでオンライン開催しています。今後も家庭の経済格差が児童生徒の豊かな芸術の体験格差につながるような努力をしていきます。また、コロナ禍の外出自粛等により子供から大人までの運動能力低下が懸念されています。



適度な運動は肥満解消等の身体的効果や気分転換やストレス解消等の精神的効果もあり、町民の健康作りに重要な物と考えます。町では海洋センターで軽スポーツ教室等を行い、町外では町民ハイキング、スキー、スノーボード教室等、健康増進に寄与する事業を実施し、地域コミュニティの醸成や健康増進のまちづくりのために取り組んできました。ウェルビーイングはそれぞれの年代の人々がそれぞれ自分の幸せを求め人生を送るという考え方だと思えます。運動については、保健健康課や各学校や町全体でも体力向上委員会を作り、この3年で落ちた体力をどう上げるか、検討していきます。緑道の健康器具のメンテナンスも確認し、フレイル予防も含めて、大人も子供もアフターコロナの生活を検討していきます。

●小中一貫校について

【川浦】行政は4小学校統廃合という大きな課題に対して、住民合意を目指す努力をしていただきたい。住民説明会では「小規模校を残してほしい」「学校を選択できる制度にしてほしい」「少人数でも社会性や人間性を高められるのではないかと子どもが生まれ育った地域も大事にしてほしい」等の要望に対して、しっかり向き合って頂きたい。住民を説得するための説明会ではなく、「様々な意見の違いがあることは承知しています」という一言で終わらせず、少しでも要望に近い部分を取り入れられるか。どうしたら合意を得られるか努力して頂きたい。青柳小、渡瀬小の保護者の不安を審議しているということですが、これは統合ありきの中での審議であり、住民合意への努力とは違う話です。また中学校の敷地に小学校を設置することで、子どもたちが伸び伸びと教育を受けられる環境になるとは思えません。体育館の共有やプール、校庭に小中学生が混在できるのか、遊具は等

不安な声もあります。小学校は別の場所である一つでなくでもいいのではないですか。その間、合意できる方法を探って頂きたい。今後のまちづくりに大きく関わることです。しっかりと向き合って頂きたい。またスクールバスは民営路線バスも活用する案が住民説明会で出されました。スクールバスが出るなら統廃合に賛成という方もいます。路線バス利用も考えるなら振り出しに戻して頂きたい。

【教育長】文科省の調査では、小中一貫校を導入した市町村で成果が認められる回答が約96%あります。神川町の昨年の全出生数は45人で各学年1クラスも予測されます。小中連携教育により、児童生徒にとってもよい教育環境が整うと考え導入を決めました。複式学級をそのまま残す方針の市町村もありますが、全国的には少ない、それは学習指導要領に子どもたちの協同的な学び、意見交換の中でお互いに刺激し合いながら、相手の意見自分の意見を育てていくことが明記されました。法的にやらなくてはなりません、大事なポイントです。地域の学校で子供たちが過ごせるのは素晴らしい事ですが、子供たちが学年で1人か2人で話し合いもできない、だから統廃合したいと考えています。住民説明会、保護者説明会も行いました。保護者アンケートもやっています。全員の方に理解してもらおうのは難しいかもしれませんが、子どもたちにとって一番いい道を探しています。

中学校の敷地面積は学年1クラスの小学校を立てるので十分です。スクールバスは路線バスも含めて、民間も含めて、色々検討しながらやっていきます。

